



2019年3月期 東リ株式会社 決算説明会

2019年 5月 31日 午前11時00分～午後12時00分

於：日本証券アナリスト協会（新）第1セミナールーム

本資料に関する注意事項

本資料に記載されている東リグループの計画・戦略・見通しのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しです。これらは、現時点で入手可能な情報に基づいた東リグループの仮定および判断によるものであり、実際の業績等は、さまざまな要因により、これらの見通しと異なる可能性があります。



目次

2019年3月期 決算概要

連結売上高・利益の推移	P.3
経常利益の主な増減要因	P.4
連結貸借対照表概要	P.5
連結キャッシュ・フロー計算書概要	P.6
連結主要項目の推移(1)	P.7
連結主要項目の推移(2)	P.8
連結セグメント別実績	P.9

中期経営計画『SHINKA-100』

東リグループ中期経営計画『SHINKA-100』	P.11
2019年3月期の主な取組み	P.12

2020年3月期 業績見通し

2020年3月期 連結業績見通し(概要)	P.16
連結経営目標指標	P.19
配当の状況(連結ベース)	P.20



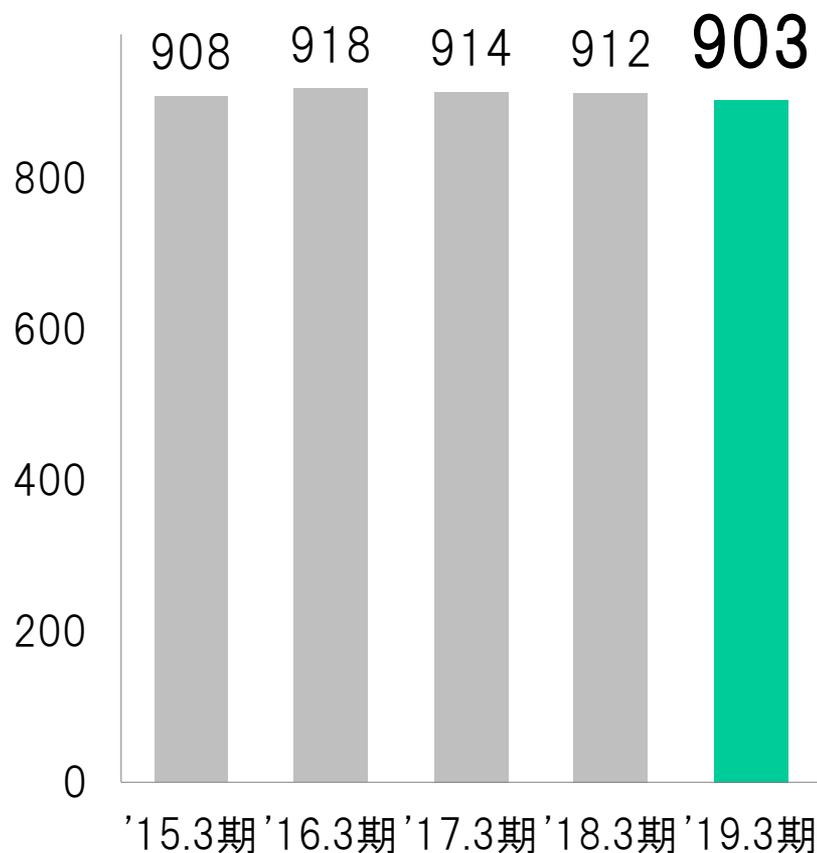
2019年3月期 決算概要



連結売上高・利益の推移

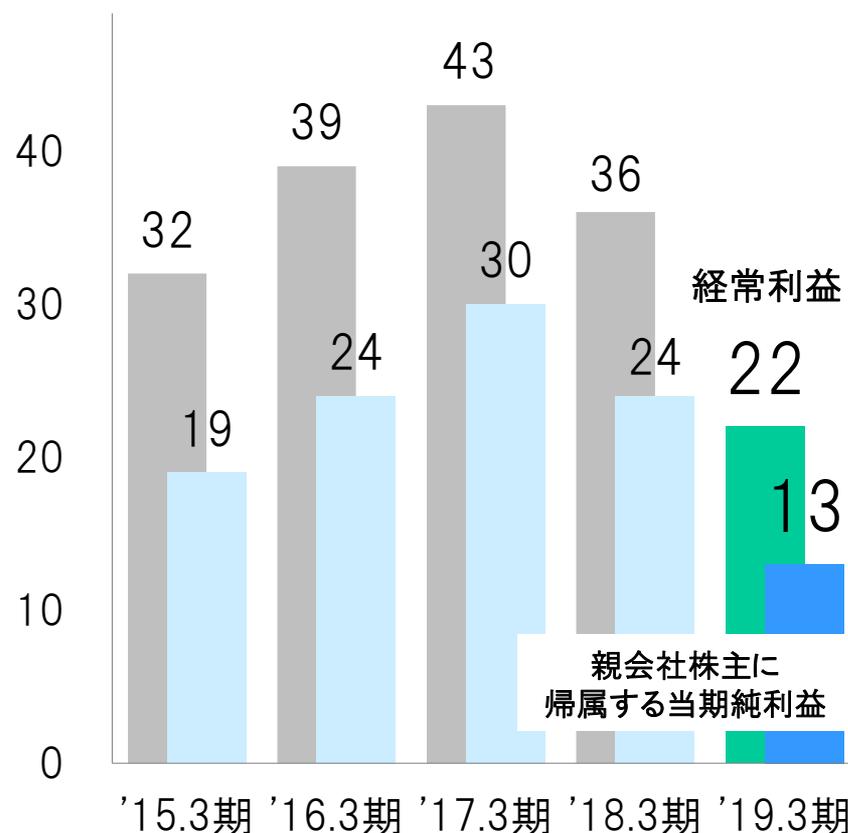
売上高の推移

(億円)



利益の推移

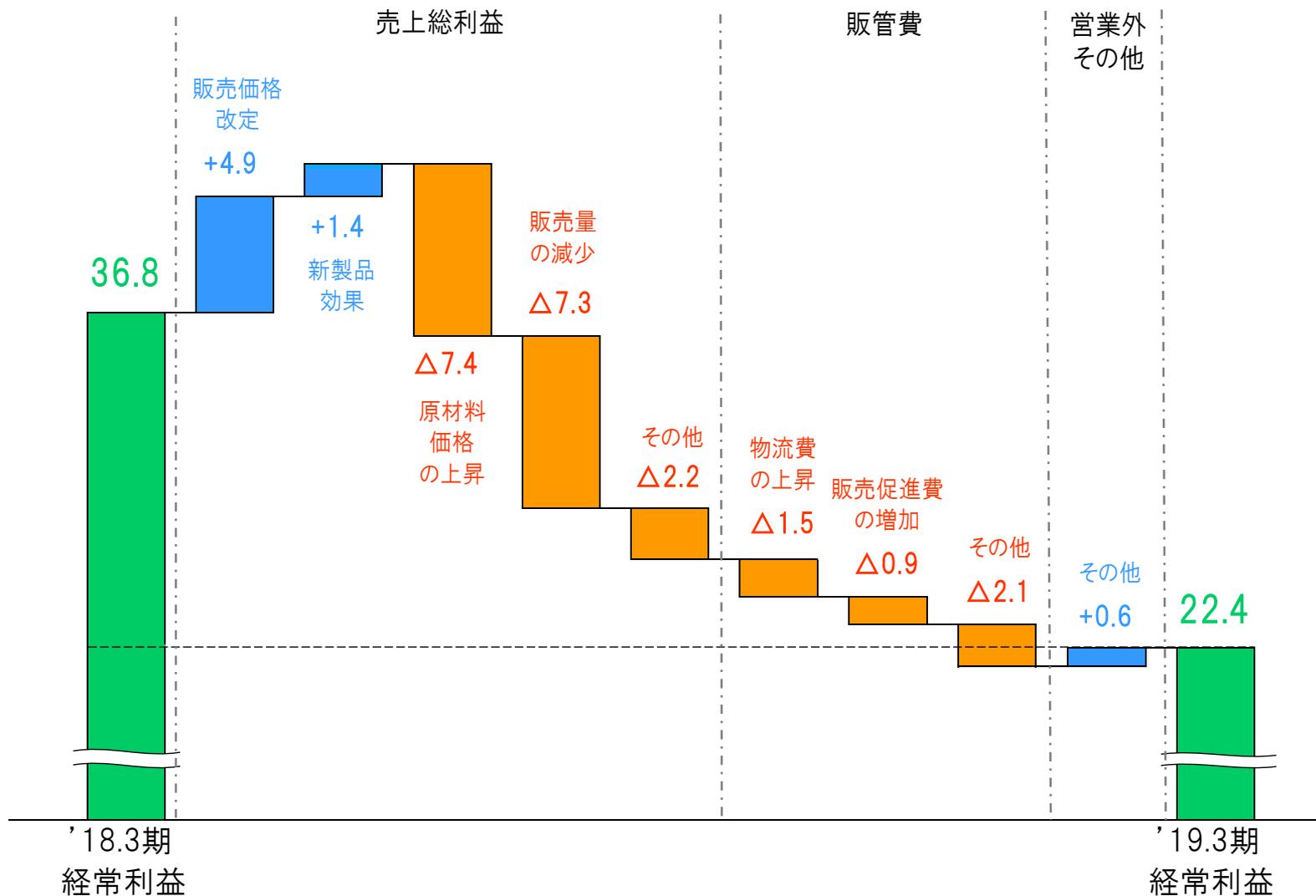
(億円)





経常利益の主な増減要因

(億円)





連結貸借対照表概要

	2018年 3月末	2019年 3月末	増減		2018年 3月末	2019年 3月末	増減
流動資産 計	486	475	△ 10	流動負債	296	305	+9
固定資産 計	290	301	+10	固定負債	121	110	△ 11
資産 計	777	776	0	負債 計	418	416	△ 1
				株主資本	334	341	+7
				純資産 計	358	360	+1
				負債及び 純資産 計	777	776	0

<資産>

	2018年3月末比
現金及び預金	△14
機械装置及び運搬具	+2
土地	+4
建設仮勘定	+4

<負債及び純資産>

	2018年3月末比
短期借入金	+10
長期借入金	△11
利益剰余金	+7
その他有価証券評価差額金	△5

連結キャッシュ・フロー計算書概要

(億円)

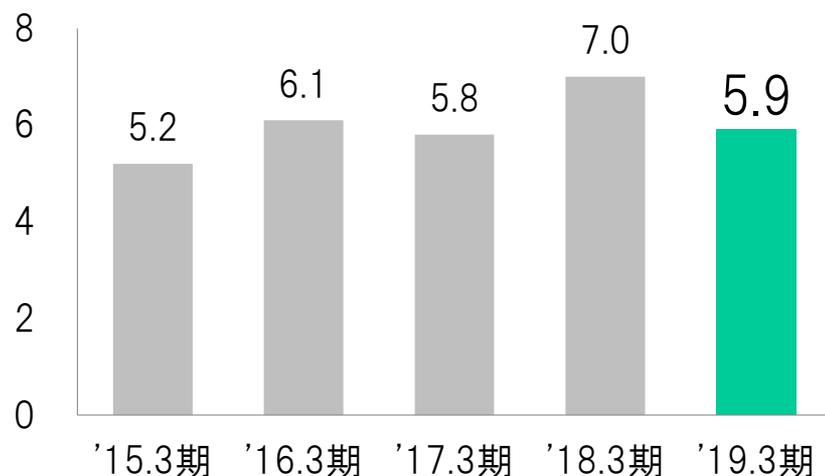
	2018.3期	2019.3期	増減
税金等調整前当期純利益	36	20	△ 15
売上債権の増減額	△ 9	9	+18
たな卸資産の増減額	△ 9	△ 7	+1
仕入債務の増減額	8	△ 6	△ 14
営業活動によるキャッシュ・フロー	26	23	△ 3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 26	△ 25	+1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 12	△ 11	0
現金及び現金同等物の増減額	△ 12	△ 14	△ 1
現金及び現金同等物の期末残高	91	77	△ 14



連結主要項目の推移(1)

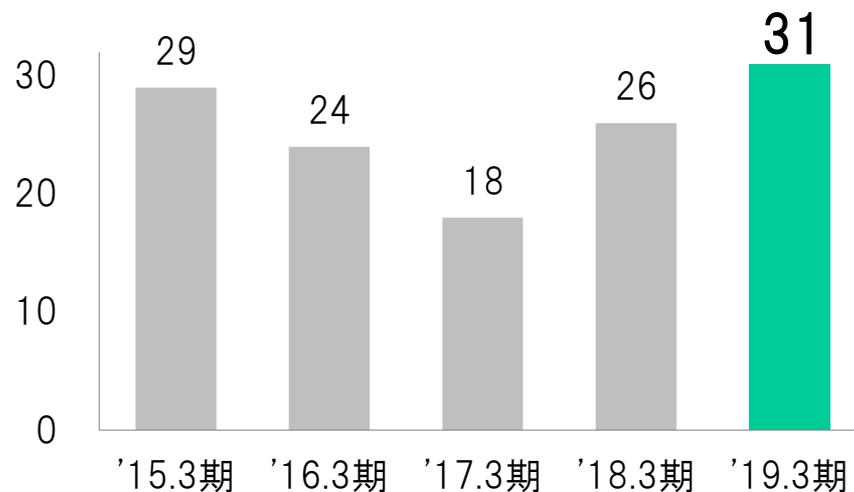
① 研究開発費

(億円)



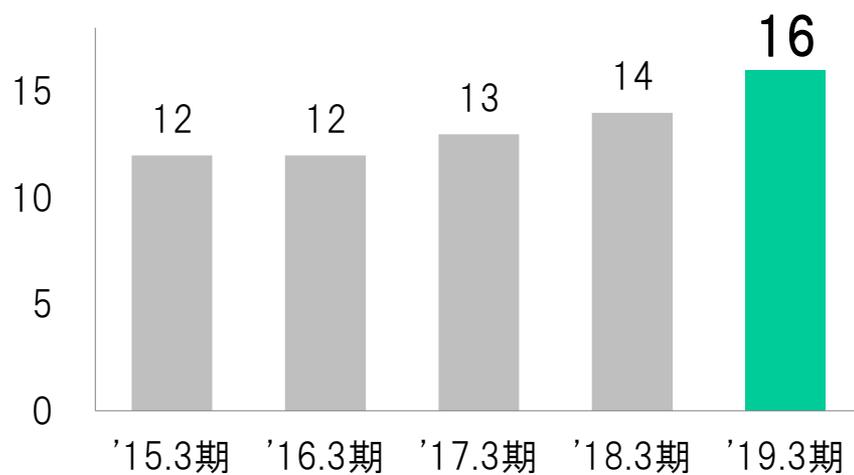
② 設備投資額

(億円)



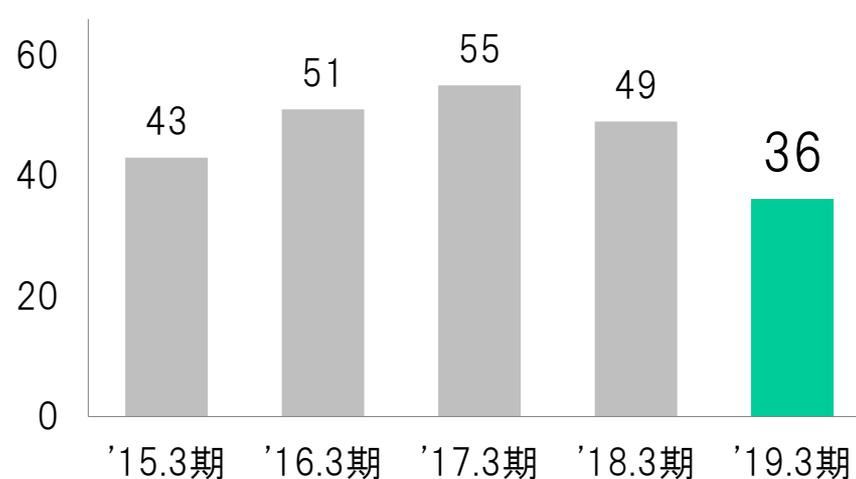
③ 減価償却費

(億円)



④ EBITDA(利払い・税引き・償却前利益)

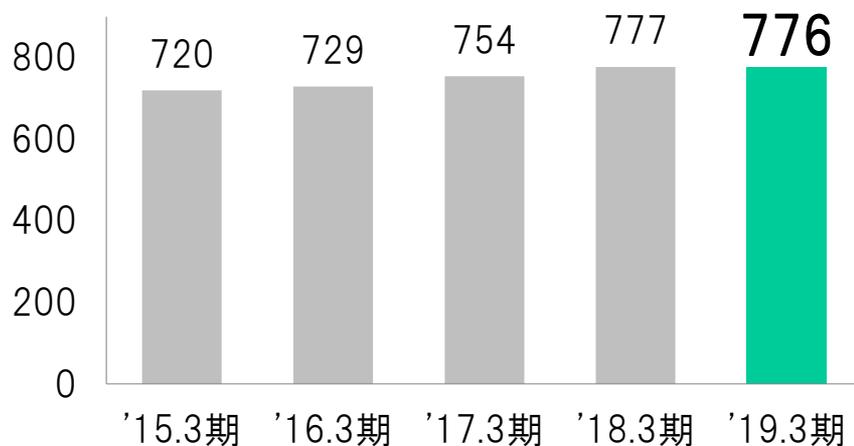
(億円)



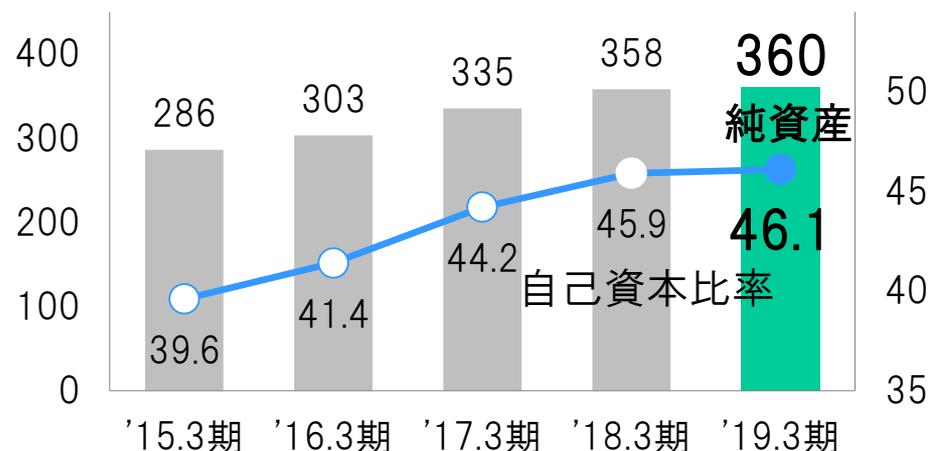


連結主要項目の推移(2)

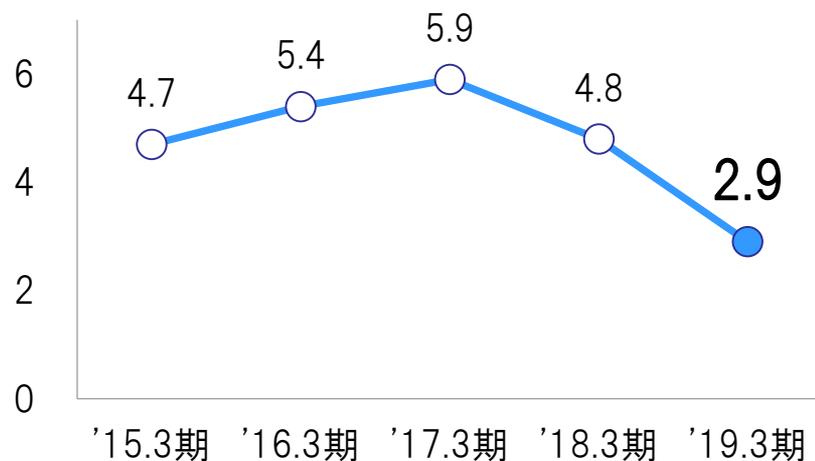
⑤ 総資産 (億円)



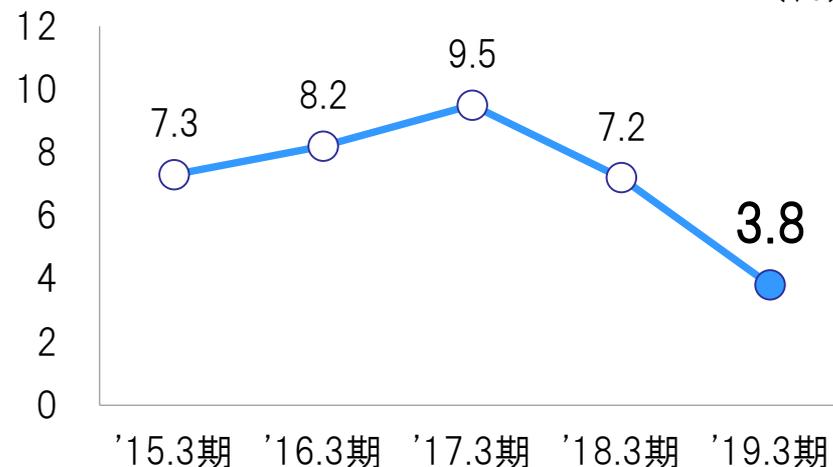
⑥ 純資産/自己資本比率 (億円/%)



⑦ ROA(総資産経常利益率) (%)



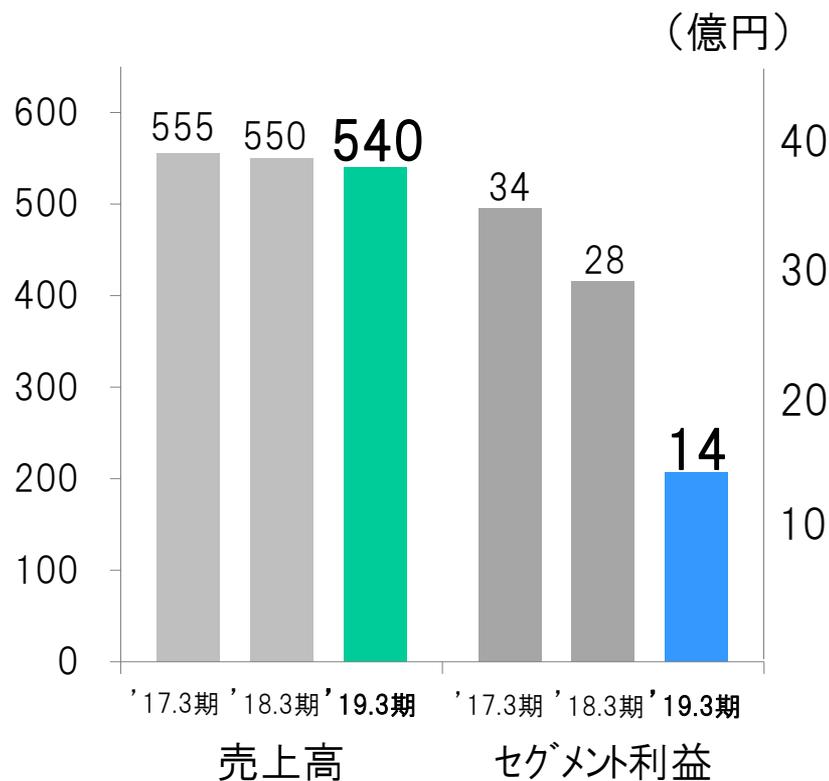
⑧ ROE(自己資本当期純利益率) (%)



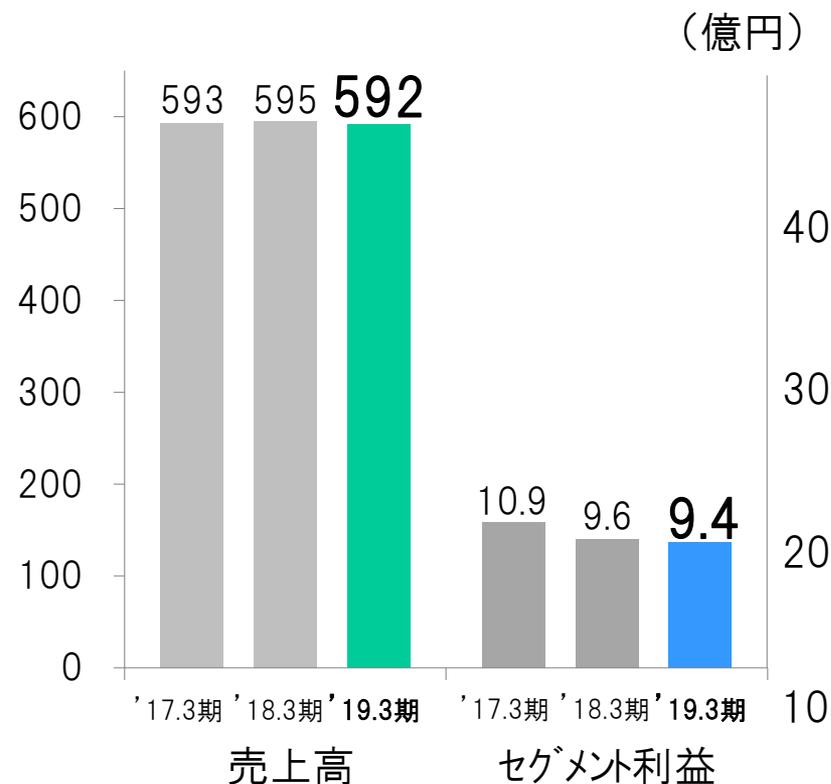


連結セグメント別実績

プロダクト事業



インテリア卸及び工事事業



<プロダクト事業>

塩ビ床材やカーペット、カーテン、壁装材等のインテリア製品の製造と、それに関連する内装材のメンテナンス及び製商品の在庫管理・配送等のサービス業務

<インテリア卸及び工事事業>

インテリア関連商材の仕入販売及び内装工事等

(注)セグメントの業績は、セグメント間の取引を含めて表示しております



東リグループ

中期経営計画『SHINKA-100』

(フェーズⅠ：2015～2017年度／フェーズⅡ：2018～2020年度)

2019年3月期の取組み

東リグループ中期経営計画『SHINKA-100』

■ 重点戦略

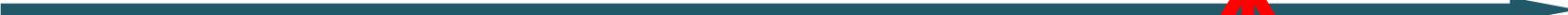
3つの「SHINKA」を重点戦略に掲げ、技術力・販売力・事業基盤の強化を推進

①「進化」～コア事業の進展と創造～

②「深化」～深掘りによる成長性の追求～

③「真価」～成長と信頼を支える事業基盤の強化～

■ スケジュール

中期経営計画『SHINKA-100』（6カ年）					
フェーズⅠ（3カ年）			フェーズⅡ（3カ年）		
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
					
 <div style="background-color: red; color: white; padding: 5px; display: inline-block;">『創業百年』</div>					



2019年3月期の主な取組み

①「進化」～コア事業の進展と創造～

ハードルの高い技術開発に挑戦し、事業領域の拡大によるコア事業の強化を図る。

・汎用塩ビ床シート『フロアリユームプレーン/マーブルNW』発売

・機能性塩ビ床シート『ケアセーフNW』発売

⇒ ワックスメンテナンス不要商品の拡大

・単層塩ビ床シート『ヒトエ』発売

⇒ 独自生産技術の確立、機能とデザイン性の両立

・グラフィックタイルカーペット『GXシリーズ』発売

⇒ 独自デザイン(Japan Design)の進化

今後の主な取組み課題

・付加価値商品の創出に向けた技術研究の強化

・業際事業に向けたアイデア創出

・環境負荷低減技術の確立 など



2019年3月期の主な取組み

②「深化」～深掘りによる成長性の追求～

成長戦略を更に深掘りし、質的・量的拡大を図り、“明日の成長エンジン”を育む

- ・10億円プロジェクト : スコープ対象商品売上実績 (+6億円)
- ・CR活動の強化推進 : 活動量の増加、宿泊施設売上増加
- ・壁装材事業の拡大 : 売上拡大、商品力(デザイン性)の向上
- ・海外事業の安定成長 : 東璃(上海)の浸透、シンガポール事業拠点設立

今後の主な取組み課題

- ・CR活動強化によるコア事業のシェア拡大
- ・カーテン事業の拡大(新総合見本帳「フル」の垂直離陸)
- ・グローバル事業の質的・量的拡大 など



2019年3月期の主な取組み

③「真価」～成長と信頼を支える事業基盤の強化～

ブランド力や品質への信頼を高めながら、効率化を図り、事業推進力を高める

- ・新基幹システム稼働 → 業務効率化、棚卸資産削減などに寄与
- ・品質管理体制強化 → 関連部門の品質プロセス監査の実施
- ・事業拠点別BCP推進 → 生産・物流拠点を中心とする再編プロジェクト推進
- ・東リグループ・新経営理念 → 『創業百年』を機に、新たな出発点

今後の主な取組み課題

- ・新基幹システムによる投資効果の最大化
- ・安定供給と効率性の同時実現に向けたSCM強化の推進
- ・成長戦略に応じた人材育成、人事制度の見直し など



2020年3月期 業績見通し



2020年3月期 連結業績見通し(概要)

	2019年 3月期	2020年 3月期					
	通期	上期		下期		通期	
		前年比	前年比	前年比	前年比		
売上高	903	430	+3.0	505	+3.9	935	+3.5
営業利益	19	1	△66.8	21	+24.3	22	+10.5
経常利益	22	2	△56.5	22	+23.4	24	+7.0
親会社株主に 帰属する 当期純利益	13	2	△10.4	14	+24.8	16	+18.9



2020年3月期の主な取組み

主な取組み課題

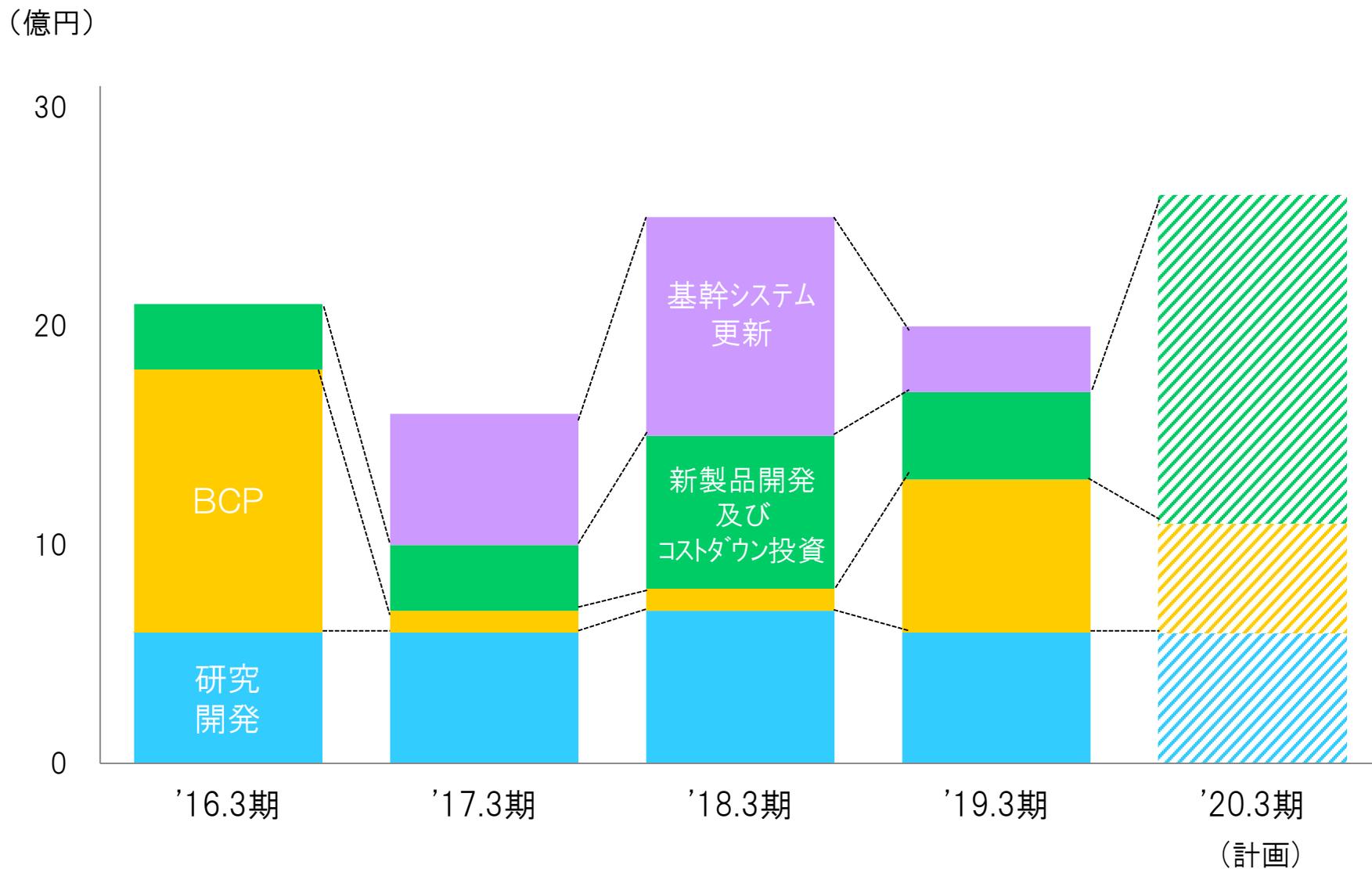
- CR活動による新商品の早期市場浸透
- 東京五輪関連需要の取り込み
- 10億円プロジェクトの2年目の成果
- カーテン事業再建(『フル』見本帳発刊)
- グローバル事業展開の加速
- 販売価格改定の徹底
- 新基幹システム効果の最大化
- 設備投資・戦略投資
- ブランド力の強化
- 株主還元

想定リスク

- ◆ 原材料価格の高騰
- ◆ 化学物質規制の強化
- ◆ 物流コストの上昇
- ◆ 原材料調達環境の変化



戦略的投資計画

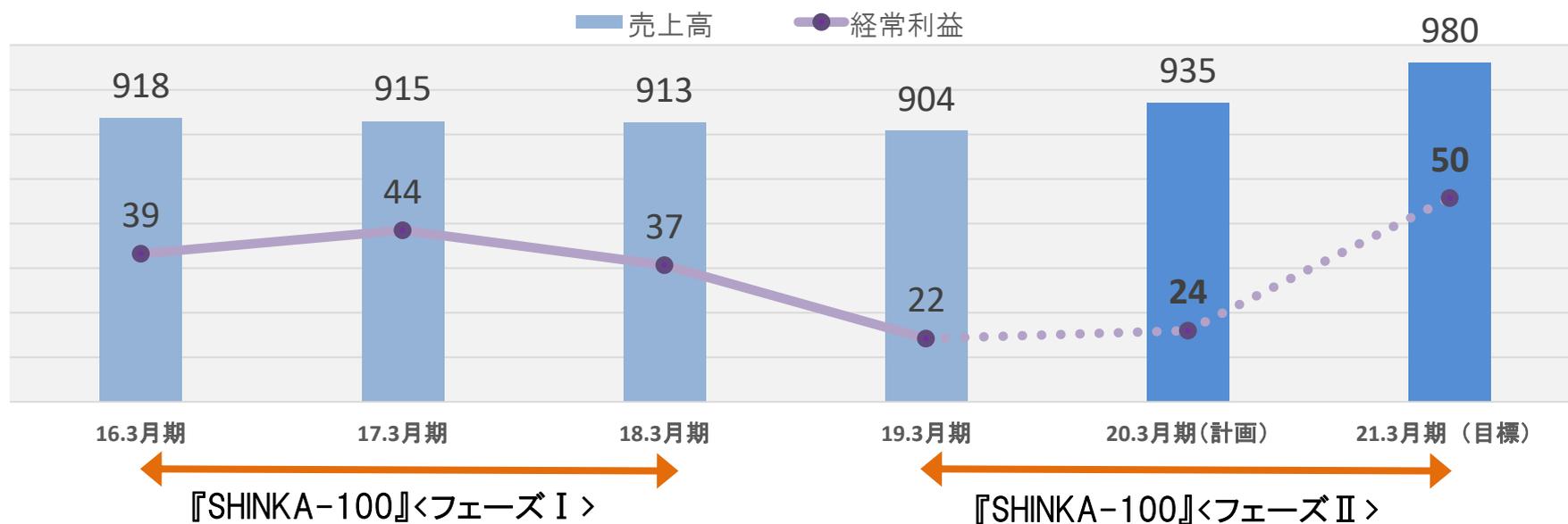




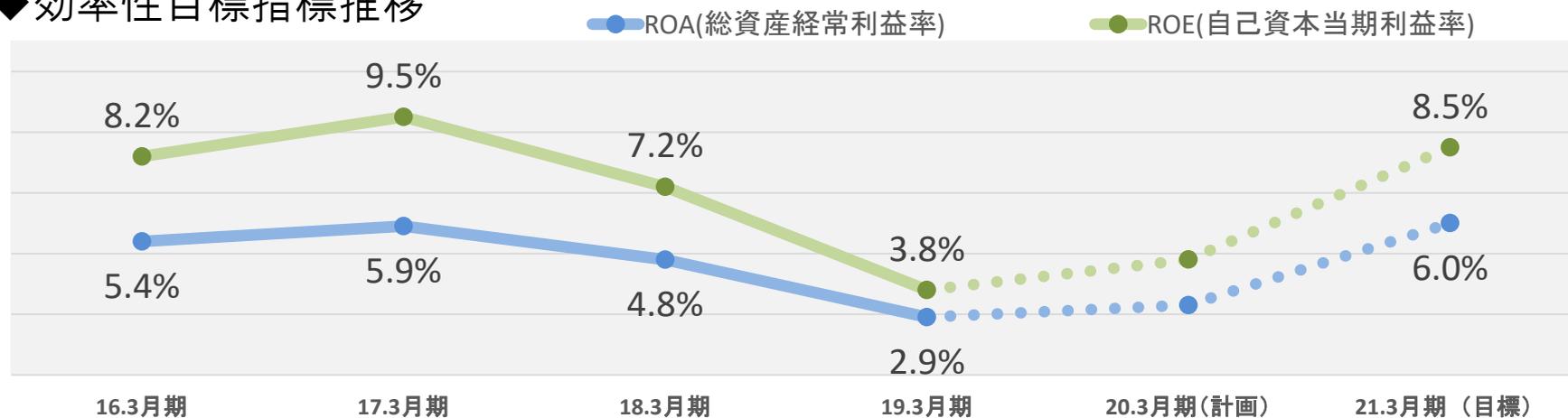
連結経営目標指標

◆売上利益目標指標推移

(億円)



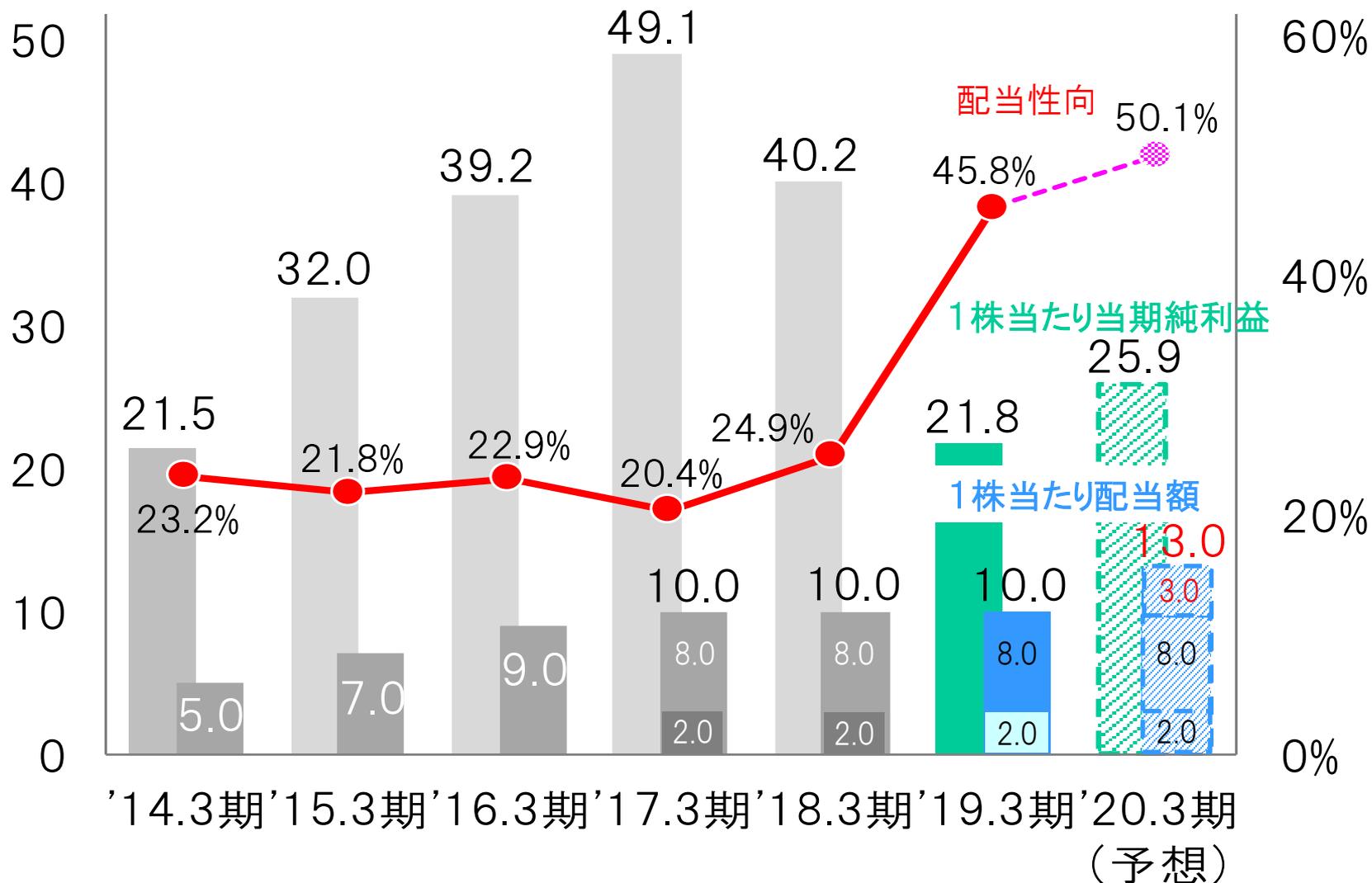
◆効率性目標指標推移





配当の状況（連結ベース）

(円)





2019年3月期 東リ株式会社 決算説明会

2019年 5月 31日